



山 名： 槍ヶ岳 3108m～前穂高岳 3090m 縦走

(長野県松本市・岐阜県高山市)

入山日：平成 29年9月24日(日)～9月27日(水) 3泊4日 メンバー・報告者： 岩田



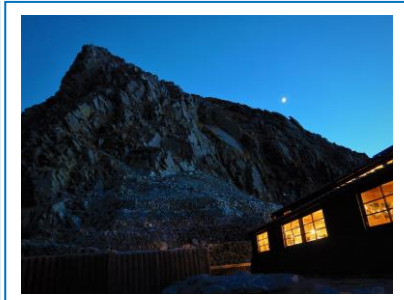
北穂高岳より望む槍ヶ岳



涸沢岳より前穂・奥穂・穂高岳山荘を望む

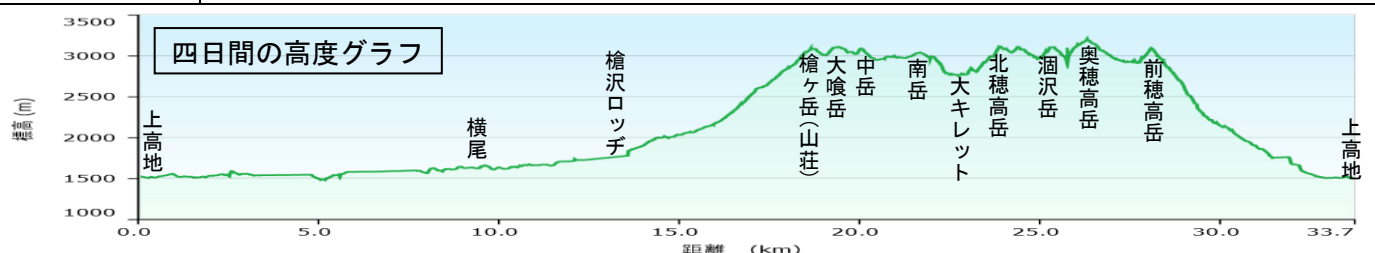


前穂より望む四日間の縦走路・槍から奥穂/吊尾根



三日月と穂高岳山荘

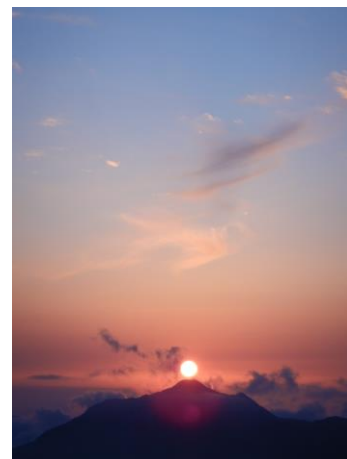
第一日目 9月24日 (日) 晴	【電車・バス】 6:42 大宮⇒(かがやき 501号)⇒7:38 長野(バス) 8:25⇒11:05 上高地 11:20(上高地) 標高 1505m→12:10 明神→13:00 徳沢→14:05～20 横尾→16:00 槍沢ロッジ(泊) 1820m 17:00 夕食 宿泊者 100名 ☎0263-95-2626・090-3135-0003 行動時間：4時間40分 (J-タイム 4:45)
第二日目 9月25日 (月) 晴	5:00 朝食 6:10 槍沢ロッジ 1820m→8:30 天狗原分岐 2350m→12:35～55 槍ヶ岳山荘 槍ヶ岳 ☎090-2641-1911→大喰岳 3101m→14:40 中岳 3084m→16:25～30 南岳 3033m→16:40 南岳小屋(泊) 2970m 18:00 夕食 宿泊者 70～80名 ☎090-4524-9448 行動時間：10時間30分 (J-タイム 6:55)
第三日目 9月26日 (火) 晴	5:00 朝食 6:10 南岳小屋 2970m→大キレット→長谷川ピーク 2841m→8:31A 沢のコル→飛騨泣き→10:08～51 北穂高小屋 北穂高岳 3106m ☎090-1422-8886→12:30 涸沢のコル→13:51～14:00 涸沢岳 3110m→14:20 穂高岳山荘(泊) 2983m 17:00 夕食 宿泊者 120名 ☎090-7869-0045 行動時間：8時間10分 (J-タイム 6:00)
第四日目 9月28日 (木) 晴/曇/雨	5:30 朝食 6:25 穂高岳山荘 2983m→7:24～35 奥穂高岳 3190m→9:20～30 紀美子平→10:08～12 前穂高岳 3090m→10:52～11:10 紀美子平→13:20～30 岳沢小屋→15:30(上高地) 河童橋 1505m 行動時間：9時間05分 (J-タイム 7:20) 【バス・電車】 16:45 上高地(バス) ミカ→(バス)⇒17:50 新島々 18:01⇒18:31 松本 19:14⇒20:26 長野 20:34⇒(はくたか 576号)⇒21:46 大宮



個人装備：ヘッドランプ、雨具、手袋、防寒衣、ザックカバー、地図、GPS550T C、無線機 ID-51、NIKON・W300、ストック、ツェルト、熊鈴、笛、スリング、カラビナ、ヘルメット等

感想：第一日目 長野からの高速バスせせらぎ号は 15 名ぐらいの乗車で定刻通り上高地に到着した。河童橋からは、くっきりと穂高連山を眺めることができた。日曜日とあって横尾までは下山する多くの登山者にすれ違った。上高地で出し忘れた登山届を横尾の登山センターで投函した。横尾登山口からならかな道を一時間ぐらい行くと、樹林の間から槍の穂先が現れた。槍沢二俣あたりからガーミン GPS は衛星ロストで現在地を受信できなくなる。樹林帯の中だからか？あるいは人工衛星の数が一時的に少ないのか？原因は不明。だが一本道だから道に迷う心配はない。

第二日目 朝、槍沢ロッジ前からは樹林の奥に朝日に輝く槍の穂先が見えた。ここから先ガーミン GPS は正常に作動し故障でなくて安心した。槍沢を登り続け 10 時頃前方に真っ青な空にとんがり帽子の槍ヶ岳見えてきた。だんだんとその穂先は大きくなり途中何回もシャッターを押した。ところどころ灌木類が紅葉している。肩にある槍ヶ岳山荘に着いたのは予定より一時間遅れの 12 時半となった。この先の道のりを考えると槍の穂先を往復する時間的余裕はなく、また以前に数回登っているので省略し、このまま先を急いだ。空中散歩気分です高 3000m 級の稜線歩きを楽しみ、大喰岳・中岳を過ぎ、後ろを振り返ると槍ヶ岳が遠く小さくなっていく。南岳に着き、ぐっと奥穂高岳・前穂高岳が近づいてきた。17 時 40 分笠ヶ岳の頂上に夕日が沈んでいった(右の写真:南岳小屋より)。南岳小屋は意外と混んでいて夕食は 2 回目の 18 時からとなった。宿泊者約 70~80 名。



第三日目 昨日までののんびりした登山と違って、ヘルメットをかぶりスリングとカラビナの簡易ハーネスをつけ気を引き締めて出発した。簡易ハーネスは岩場で休憩したりすれ違ったりする時など鎖場の金具にかけたりしてセルフビレイをとるため、念のためつけたほうが良い。長い鎖場、長い鉄バシゴが連続し大キレット最低鞍部を 7 時 30 分ごろ通過した。次に長谷川ピークを登り核心部に入る。馬の背を過ぎ 8 時 30 分 A 沢のコルで一息つく。目の前には北穂高岳の大岩壁が迫ってきた。鎖をつたったりして難所の飛驒泣きを無事通り過ぎ、あとは北穂高岳頂上をめがけて岩稜のきつい登りだ。10 時 08 分めでたく北穂高小屋に到着した。昼食の大休止をとり次は涸沢岳へ向かう。すぐの分岐でうっかりして涸沢へ下る南稜に入ってしまう、道標まで戻って 20 分のタイムロスをした。涸沢岳へのルートは少し登ると岩場の下りが続き 12 時 40 分涸沢のコルに到着した。そして鎖の連続となり一歩一歩慎重に登り本日最後のピーク涸沢岳に着いた。明日登る奥穂高岳・前穂高岳は目の前に大迫力で迫ってきた。穂高岳山荘はすぐ眼下に見え、ほぼ予定通りの時刻に山荘に着くことができた。

第四日目 穂高岳山荘の朝食は 8 月と違って 30 分遅くなり 5 時半だった。午後からは天気が崩れるとの予報だが、朝は高雲でまだ晴れている。ヘルメット着用し出発後一時間で奥穂高岳山頂に到着。文字通り 360 度のパノラマで絶景かな!!! 景色を満喫後、前穂高岳へ吊尾根に行く。前日同様鎖場が多い。吊尾根からは上高地、梓川がくっきりと俯瞰できる。紀美子平ではホシガラスが上高地方面からの南風に乗ってホバリングしている。紀美子平にザックをデポしサブザックで前穂高岳山頂を目指した。ここからも岩場の登りで、ザイルにつないだガイドパーティが二組下りてきた。とうとう今回の山行の最終ピーク前穂高岳に 10 時 08 分登頂した。バンザイ\(^o^)/ 今回歩いてきた縦走路、槍ヶ岳から大喰岳・中岳・南岳・北穂高岳・涸沢岳・奥穂高岳そしてここ前穂高岳に続く吊尾根まで一望できた。り穂高岳山荘のおいしい昼食弁当をいただく。その後重太郎途中岳沢小屋で休み、岳沢トレイルと名のついた登山道を楽しみながら上高地へおりました。上高地に着くと天気予報通りパ降り始めた。



紀美子平に戻新道を下り、色々な花を楽しむパラと雨が

えることができよく予備日をアップして転は注意が必要

今回の山行は何よりも天気に恵まれて、計画通り縦走を終きた。雨の日に備えて予備日を一日計画に入れていたが、運使うことなく下山することができた。雨の中では岩場はスリ倒、滑落の危険があるので、特に南岳小屋から前穂高岳までであり、そんな日は登山中止し山小屋に停滞したほうが良い。また浮石が多いので落石に注意しヘルメットは必携だ。

以上